

# < 電磁鋼板の磁気特性計測 >

## 概要

モータの設計に必要な電磁鋼板の磁気特性は、従来エプスタイン法や単板磁気試験法で測定していましたが、より多くの条件下での磁気特性を測定する事が必要となり、特にモータは回転磁束下で使用されるため、2次元磁気特性測定が重要となります。モータの励磁周波数は50/60Hzですが、インバータ制御、サイリスタ制御による、高周波、高調波成分の測定も必要となってきています。

## 主な仕様・特長

デジタルイザ M2p.5966-x4

4チャンネル、16ビット、125MS/s (1kS/s~125MS/s)  
サンプリングレートの設定分解能：1Hz

AWG (任意波形発生器) M2p.6561-x4

2チャンネル、16ビット、125MS/s (1kS/s~125MS/s)  
外部サンプルクロックによる動作可能

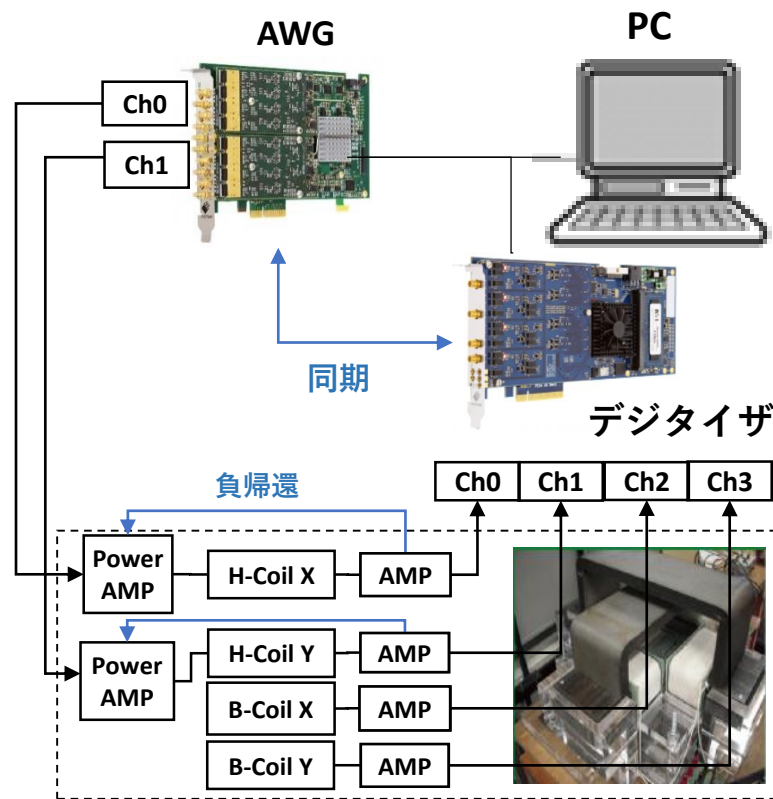
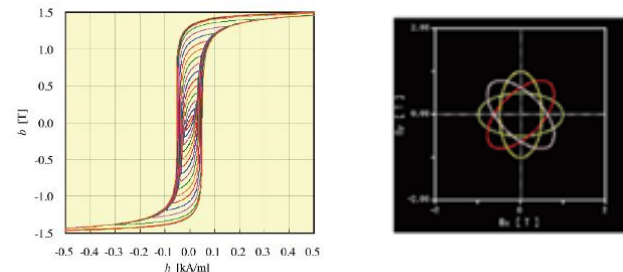


図1. 2次元磁気測定装置



(a) hysteresis loops in the rolling direction

図2. 測定例